

# 令和2年度 可児市水道事業会計当初予算編成について

## 1 水道事業の運営方針

「安全・安心な水道水を安定的に供給する」

【経営基盤の強化】・建設コストの縮減や経常経費の節減（窓口・徴収業務などの民間委託、資産運用）などによる経営効率化の推進

【水道施設の整備更新】・水道施設の計画的な更新整備、配水施設の再編整備などによる安定した水道水の確保

【水道施設及び水道管路の耐震化の計画的な推進】

・水道施設（平成30年度 完了）及び水道管路（目標 令和13（2031）年度）の耐震化の計画的な推進

【水質管理及び災害対策】・水安全計画に基づく高いレベルでの供給水質の確保

・災害時における危機管理体制の構築と飲料水の確保

## 2 令和2年度当初予算編成の基本方針

令和元年7月31日付け「令和2年度当初予算編成について」で示された、「令和2年度の市政の運営方針」と「令和2年度予算編成の基本方針」に基づき、重点事業点検報告書による検証（自己点検）を実施するとともに、重点事業調書を作成することで先を見据えた計画的な予算を編成します。

下記重点事業を推進し、水道事業の運営方針に定めるとおり、安全・安心な水道水の安定的な供給に取り組みます。

【重点事業】（可児市政4つの柱と重点事業の一つ「まちの安全づくり」への貢献事業）

### ①水道施設等耐震化事業

耐震性能が劣る配水場・ポンプ場については、平成30年度までに工業団地ポンプ場を除き耐震補強を終了した。

基幹管路（送水管および主要な配水管）については、平成26年度から令和13（2031）年度までに布設替工事を実施して耐震化を図る。

これにより、南海トラフ地震等の大規模災害時の影響被害を最小限に食い止めることができ、被災時における応急給水体制の強化を図ることができる。

### ◎令和2年度実施事業

- ・低区系基幹管路（低区配水場～虹ヶ丘ポンプ場）布設替工事
- ・低区系基幹管路（低区配水場～土田）布設替その2工事（令和元年度からの継続事業）
- ・低区系基幹管路（低区配水場～土田）布設替舗装復旧工事
- ・中区系基幹管路（中区配水場～大森ポンプ場）布設替その3工事（平成30年度からの継続事業）
- ・中区系基幹管路（中区配水場～大森ポンプ場）布設替舗装復旧工事
- ・中区系基幹管路（中区配水場～大森ポンプ場）設計業務（第2工区）
- ・第2低区系送水管（第2低区配水場～長洞ポンプ場）布設替その7工事（平成27年度からの継続事業）
- ・第2低区系送水管（長洞ポンプ場～光陽台配水池）布設替工事（平成29年度からの継続事業）
- ・第2低区系送水管（第2低区配水場～長洞ポンプ場）布設替舗装復旧工事
- ・第2低区系送水管（長洞ポンプ場～光陽台配水池）布設替舗装復旧工事

## ②配水ブロック統廃合整備事業

配水施設を集約することにより、中長期にわたる維持管理費が低減でき、水道事業の安定経営を図ることができる。

また、統廃合による施設管理業務の低減や、整備関連による管路の布設替の結果、南海トラフ地震等の大規模災害時における応急給水体制の強化を図ることができる。

### ◎令和2年度実施事業

- ・第2低区系基幹管路(第2低区配水場～工業団地配水池)布設替工事
- ・愛岐ヶ丘系基幹管路(長坂～緑)布設替舗装復旧工事
- ・愛岐ヶ丘系基幹管路(長坂～緑)布設替その3工事  
(平成30年度からの継続事業・緑配水ブロックを愛岐ヶ丘配水ブロックに統合)

### 3 重点事業

重点方針	まちの安全づくり				所属	水道部		水道課						
総合計画	4	-	3	- (1)	総合戦略	0	-	0	-	0	予算額	千円		
事業名	水道施設等耐震化事業				会計	水道事業 (資本的支出)		款	1	項	1	目	2	
					事業期間	終期あり 平成 26 年度 ~ 令和 13 年度								
事業の目的・最終形のイメージ	地震等災害発生時においても一定の給水を確保し、応急給水体制の強化が図られる。													
4年後に実現したい姿	基幹管路の耐震化延長を伸ばし、耐震補強が完了した施設(配水場・ポンプ場)とあわせて、被災時における応急時の飲料水確保を図る。													
指す対象年度に成果を成す	補助要綱にあわせた事業進捗をはかり、有利な財源にて無駄のない整備をおこない、災害時の給水確保を図る。				実施内容	耐震性能が劣る施設(配水場・ポンプ場)の耐震補強工事を平成26年度から平成30年度にかけて実施し、基幹管路(送水管、配水本管)については、平成26年度から令和13年度にかけて布設替工事を実施して耐震化を図る。これにより、南海トラフ地震等の大規模災害時の影響被害を最小限に食い止めることができ、被災時における応急給水体制の強化を図ることができる。								
新規取組														
説明資料(写真・地図等)														
指標		達成状況	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
指標①	配水池耐震施設率	目標値	100.0%	100.0%										
		結果	81.8%											
指標②	基幹管路耐震化布設延長	目標値	10,924m	11,338m	12,706m	13,996m	15,292m	16,428m						
		結果	9,309m											

重点方針	まちの安全づくり			所属	水道部			水道課						
総合計画	4	-	3	-	(1) 総合戦略	0	-	0	-	0	予算額	千円		
事業名	配水ブロック統廃合整備事業					会計	水道事業 (資本的支出)		款	1	項	1	目	2
						事業期間	終期あり 平成 26 年度 ~ 令和 10 年度							
事業の目的・最終形のイメージ	水道水の安定した供給と維持管理費の低減。													
4年後に実現したい姿	可児市水道事業整備基本計画の見直しにより、さらなる配水ブロック統廃合の可能性を探り、水道水の安定した供給と維持管理費の低減を図ります。													
対象年度に成果	工業団地ポンプ場廃止にむけての管路の布設。統廃合が完了した鳩吹台配水池の解体。					実施内容	配水施設の統廃合により、中長期にわたる維持管理費を低減し、水道事業の安定経営を図ります。 また、施設の統廃合に伴い耐震性の劣る基幹管路の整備を行うことで、南海トラフ地震等の大規模災害時における応急給水体制の強化につながります。							
新規取組														
説明資料（写真・地図等）														
指標	達成状況		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
指標①	目標値													
	結果													
指標②	目標値													
	結果													
参考指標	松伏・桂ヶ丘配水ブロック統合、鳩吹台・虹ヶ丘配水ブロック統合、緑・愛岐ヶ丘配水ブロック統合、緑ヶ丘・中区ブロック統合、工業団地ポンプ場廃止		松伏・桂ヶ丘統合	鳩吹台・虹ヶ丘統合		緑・愛岐ヶ丘統合								